

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調査

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調査				基準年月日	令和3年8月1日															
調査番号	06-02		所管部	農政部		作成責任者	農政部農村振興局農地整備課長 磯嶋 光世													
I 基本事項(基準日時点)				担当係	水田整備係(内) 27-568															
事業種別	道営土地改良事業費(農地整備事業(経営体育成型))				地区名	せんしゅうにんばに 千秋第2		市町村名	妹背牛町・秩父別町											
事業費	4,932 百万円		負担割合	国 55.0% 道 32.5% 市町村 12.5%		2,713 百万円		1,603 百万円		617 百万円										
事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●良質米の安定生産および転作作物の生産性向上を図る。 ●農作業効率の向上および水管理の合理化により労働時間の削減を図る。 ●換地により農地や農業施設の再編整理を図る。 ●担い手への農地集積を図る。 ●事業実施により安全・安心な食の生産をささえる。 				事業概要	雨音川流域に位置する本地区において、安定した用水供給や適切な深水分け等の水管理に対応できる農業用水施設の整備を行う。また、区画整理により現況50a程度の区画を2.4ha程度の規模へ大区画化し、併せて排水改良のために暗渠排水、排水路の改修整備と転作作物の生産性向上のために客土を行う。														
	【アウトカム】等	工事費内訳	受益面積 324ha → 326ha 受益戸数 28戸 → 24戸 ○用水路 10,529m → 9,389m ○排水路 6,233m → 9,228m ○区画整理 165ha → 242ha ○測量設計費 ○用地補償費 電柱移設 55本 → 30本 ほか ○換地費			(百万円) 前回評価 1,280 今回評価 1,472 (百万円) 前回評価 80 今回評価 509 (百万円) 前回評価 890 今回評価 2,313 (百万円) 前回評価 380 今回評価 553 (百万円) 前回評価 20 今回評価 68 (百万円) 前回評価 0 今回評価 17 計 2,650 4,932														
総合計画での位置付け	施策名	農業農村整備の推進			総合計画：中項目	農林水産業の持続的な成長			総合計画：小項目	潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり										
	施策目標	地域の個性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の3つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。			関連する指標	食料自給率(カロリーベース) 令和7年度(2025年度) 目標値：258%														
II 公共事業評価経過 (単位：百万円)																				
事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/a									
	事前評価又は当初	H27(2015)	H27(2015)	H35(2023)			2,650	861												
	今回評価	H27(2015)	H27(2015)	R3(2021)			R6(2024)	4,932	1,603	1,280	3,967	80%								
変更理由・内容																				
(1)区画整理について、整備要望が見直され整備内容を再検討したことによる事業量、事業費の増 (2)事業量、事業費の増等に伴う完了予定年度の延伸 (3)区画整理で隣接区画と一体的整備による事業量、事業費の増 (4)用水路について、配置計画を見直したことによる事業量、事業費の増 (5)排水路について、現地調査の結果、整備延長が増となったことによる事業量、事業費の増 (6)区画整理について、整地工法の変更による事業費の増 (7)区画整理について、客土厚変更による事業費の増 (8)区画整理について、冬期に客土運搬する計画であったが、年度別運搬量の増大に伴い客土販売業者と協議した結果、夏期に仮堆積を行う必要が生じたことによる事業費の増 (9)資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増 (10)積算標準の改正による事業費の増																				
III 事業採択前の状況																				
1. 事業採択に至る経過と背景	本地区は、昭和50年代からの道営ほ場整備事業及び平成10年代の道営土地改良総合整備事業により現在のほ場区画が形成されたが、経年劣化により農業用水排水施設及び暗渠排水の機能低下や作土厚の不足が生じているほか、ほ場の約半数が60a以下で近年の機械利用体系に対応できていない状況である。このため、本事業により農業用水排水施設及び区画整理の整備を行い、農業生産性の向上を図るとともに担い手農家への優良農地の面的集積を図るために、秩父別土地改良区から事業採択に向けた要望が出された。																			
2. 事業検討の経緯(住民ニーズの把握等)	<ul style="list-style-type: none"> ● H22年(2010年)5月 秩父別土地改良区から空知総合振興局に調査計画を要望 ● H25年(2013年)4月 総合振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始 ● H26年(2014年)3月 土地改良法に基づき事業申請 ● H28年(2016年)1月 事業採択 																			
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 妹背牛町、秩父別町 ● 受益面積324ha、受益戸数28戸 																			
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容					
事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容																
IV 事業の実施状況																				
1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画																			
	施工(工種)区分	工事内容	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	進捗状況	事業費(百万円)					
	用水路	L=9,389m				L=7,781m				L=1,608m				87%	1,472					
	排水路	L=9,228m				L=7,432m				L=1,796m				72%	509					
	区画整理	A=242ha				A=176ha				A=66ha				79%	2,313					
	測量設計費	調査・設計												85%	553					
	用地費及補償費	用地買収・物件補償												31%	68					
	換地費	換地処理												37%	17					
	(2) 進捗状況																			
	本地区は、H28年(2016年)から着手し、用水路7,781m、排水路7,432m、区画整理176haの整備が完了している。事業量、事業費の増加に伴い事業期間を延伸しているが、今後の実施に当たっては、特に大きな支障となるものはない。																			
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">b</td> <td>a: 概ね予定どおり実施している。</td> </tr> <tr> <td>b: 事業計画・期間等を変更し実施する。</td> </tr> <tr> <td>c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。</td> </tr> </table>										b	a: 概ね予定どおり実施している。	b: 事業計画・期間等を変更し実施する。	c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。							
b	a: 概ね予定どおり実施している。																			
	b: 事業計画・期間等を変更し実施する。																			
	c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。																			
2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)			費用の内訳(百万円)			B/C		備考											
	項目	R3現在	項目	R3現在	B/C		R3現在													
	作物生産効果	3,912	農業用水排水施設	2,860			・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」(農林水産省H30改正)に基づき算出 ・経済効果の合計と費用の合計は、「工期+40年」の累計で算出しR3年度に現在価値化している。 ・費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。 ・農業用水排水施設(区画整理内排水路含む)と接続する上田排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。 ・維持管理費削減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の削減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の削減の合計により、マイナスとなる。													
	品質向上効果	2,198	区画整理	3,050																
営農経費削減効果	3,546	関連施設	3,462																	
維持管理費削減効果	△92																			
災害防止効果	17																			
国産農産物安定供給効果	536																			
合計(B)		10,117	合計(C)		9,372	1.07														
前回算定年度 : H25年度(2013年度)【事前評価】 前回算定時B/C : 1.16 変更理由 : ・事業費の増加に伴う総費用の増加 ・区画整理面積の増加による総便益の増加 ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加による総便益の増加																				
3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組の内容								総減額(百万円)										
施工の適正化		用水路工において、埋戻し土に現地発生土を流用しコストを抑制								25										

V 評価	
1. 必要性	●地域農業を取り巻く現状と課題に変化はなく、これらに対応するための農業基盤整備の必要性に変化はないため、早期事業完了を目指す必要がある。
	a a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 善工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 善工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●本地区は妹背牛町、秩父別町がそれぞれ作成した田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられている。 ●排水路や区画整理等の施工にあたっては、隣接する河川への影響を最小限に留めるため濁水流出防止に配慮することを環境情報協議会へ提案し意見を求めている。 ※直近の評価以降の状況変化はない。
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●事業着手以降毎年、千秋第2地区促進期成会を通じて整備促進の要望が行われている。
	(3) その他の課題 ●特になし
3. 事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けて今後は要望とおりの予算を配当する必要がある。
	a a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和6年度(2024年度)の完成を目指して事業を継続する。
	a a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止
	事業期間変更の有無 有 事業費変更の有無 有 事業内容変更の有無 有 目的・規模等に係る変更 無 左記以外の変更 有
VI 備考	
1. 評価履歴	事前評価: 平成25年度(2013年度)評価 評価結果: 要望を行うことは妥当 B/C=1.16 再評価: 該当なし
2. その他の取組事項	

補足資料

VII 事業計画変更							(単位: 百万円)				
事業年度	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経年経過回数	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
変更①		H27(2015)	H27(2015)	H27(2015)	H35(2023)	6	2,650	861			
変更②		H27(2015)	H27(2015)	H27(2015)	H36(2024)		3,800	1,235			
変更③	1回目			R1(2019)	R6(2024)		4,723	1,535			
変更④				R3(2021)	R6(2024)		4,932	1,603	1,280	3,967	80%
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容		<p>変更①: 事前評価から事業採択申請までに生じた変更 ・区画整理について、地区内でさらなる効率的な営農が可能となる整備検討を進めたいとの地域要望を受け、地元調整を進めて整備内容を検討した結果による、事業量、事業費の増 事業期間の延伸 ・事業量、事業費の増に伴い、施工期間を再検討したことによる完了予定年度の延伸</p> <p>変更②: 事業量、事業費の変更 ・区画整理について、整備予定ほ場に隣接するほ場を一体的に整備し、大区画化することに伴う事業量、事業費の増 ・用水路について、区画形状の変更に伴い用水路の配置計画を見直したことによる事業量、事業費の増 ・排水路について、現地調査の結果、暗渠排水口の切深が確保されていないことが判明したため、整備が必要となったことによる事業量、事業費の増 ・区画整理について、当初計画よりも大区画化する計画としたため田差が大きくなり工法を変更したことによる事業費の増 ・区画整理について、現地調査の結果、必要客土厚が変更となったことによる事業費の増 ・資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増</p> <p>変更③: 事業費の変更 ・区画整理について、冬期に客土運搬する計画であったが、年度別運搬量の増大に伴い客土販売業者と協議した結果、夏期に仮堆積を行う必要が生じたことによる事業費の増 ・資材及び労務単価の上昇による事業費の増 ・積算基準の改正による事業費の増</p>									

農地整備事業(経営体育成型) 千秋第2地区 計画一般図



